

「アンケート」へのご協力 ありがとうございます

日本共産党が実施している「子育て応援・身近な要望実現アンケート」に次々回答が寄せられています。今回は子育て応援について寄せられた声の一部を紹介します。

- 高校生の長男には具合が悪いとき我慢させています。子ども医療費助成を高校生まで拡大してほしいです。
- 東葛地域には重症心身障害児者施設が1カ所のみで、短期入所の予約が取りづらい。施設の新設を望んでいます。
- 子どもが3人です。パートで働いていましたが、帰りが遅いと子どもたちが心配なので辞めてしまいました。収入が少なくなり、食事を取るだけでも大変です。
- 兄弟が別々の保育園で、金銭的にも、体力的にも苦勞しました。同じ保育園に入れてほしいです。
- 児童センターが少なすぎます。増やしてほしい。
- 三郷市では子どもの医療費は無料だったのに、柏市では300円を取られてびっくりしています。
- 小学生が1人で留守番は心配。こどもルームの保育料を下げてください。
- こどもルームが月額1万円、夏休みは1万5000円と高額。兄弟で使いた

子育て支援の充実、ご要望の実現にがんばります

- 小学生の子どもが3人います。何かとお金がかかります。2人目、3人目への支援をお願いしたいです。
- 家庭の都合で学びたくてもできない場合があります。特に母子家庭の場合は。
- 子どもの多い世帯の国保料の子どもの均等割の減免は特に望みます。

コミュニティバスの実現や、地域の交通安全対策など、具体的に地図を添えてのご要望もたくさん寄せられています。議会質問や国・県・市への予算要望、関係機関への要請で実現を求めていきます。

懇談を拒む秋山市長

公民館問題 サークル解散の事態も

中央公民館が耐震工事、リニューアル工事のため4月1日から休館に入り、1年9カ月使用できません。

「中央公民館の代替施設を求める会」が提出した「代替施設として、大手予備校旧校舎の使用を検討してください」という請願が3月市議会で採択されました。

中央公民館を会場に8年活動を続けてきたお料理サークルは、会場の確保が難しくなるため3月末で解散してしまいました。代替施設の確保は緊急を要しています。「求める会」は「市民の声を直接市長に聞いていただきたい」と、市長との懇談を求

めています。秋山市長はそれを拒んでいます。



柏市独自の児童相談所、早く

専門職の採用増やし万全の準備を

小学4年生の女子児童が、親からの虐待を受けて亡くなるという事件が野田市で起きました。柏市内でも子ども虐待の相談件数は昨年度1000件を超えています。あらためて

子どもの命を守る児童相談所の役割が問われています。市内には県の機関である「柏児童相談所」がありますが、県北西部の人口130万人を

対象としており、これでは子どもたちの命と安全を守ることが困難です。日本共産党市議団は、市独自の児童相談所の早期開設に向けて、専門職員の採用を今から増やすよう求

めています。市は、市独自の児童相談所設置を前提とし、専門職員を研修のため県に送るなど取り組みを始めています。

柏市、消費税の増税分を市民に転嫁

10月から消費税が10%に引き上げられようとしていることに伴い、市から上下水道の料金や、プールや運動場、市民ギャラリー、近隣センター、駐輪場、緊急通報システムなど、市民が使用する施設や、福祉分野の料金を引き上げる議案が提出され、柏清風などの賛成多数で可決されました。

政府の調査でも日本経済は後退局面に入っていることを示しており、政権与党からも増税に動揺が走っています。このような時、地方自治体は住民の福祉や暮らしを守る立場に立ち、公共料金への消費税転嫁はやめるべきです。

コミバスを 1日も早く

コミュニティバス実現への市民の要求が強まっています。

「1日も早く」の求めに対し、柏市は、計画していた実証実験については2019年度は行わず、改めて調査し、どのような交通手段をどういう形で導入していくか整理する、と3月議会で答弁しています。

日本共産党の「安くて便利なコミバスを」の提案や「100円コミバスを走らせる会」などの運動で、市長も公約に掲げ、市も計画に位置づけました。日本共産党は早期実現に全力で取り組みます。



暮らしの何でも相談

- わたべ 和子 事務所 717855155
 - くさかみ や子 事務所 71646870
 - ひらの 光一 事務所 71459672
 - 武藤 みつえ 事務所 71706112
 - やざわ 英雄 事務所 71938175
- サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・ホームレス支援・生活保護・地域の要求、お気軽に何でもどうぞ！